

一般質問発言通告書

平成29年 6月 6日

午 時 分受付

(通告書2枚)No.1

下記のとおり、発言しますから通告します。

平成29年 6月 6日

つくば市議会議員 塩田 尚 様

つくば市議会議員 皆川 幸枝 印

質問事項	要 旨	答 弁 者
1. 市民参加のまちづくり	<p>これからのまちづくりに市民参加は重要不可欠です。市は、その方法や条例・規則等の整備を今後進めていくと考えますが、それと並行して、具体的な実践も進めていく必要があると考えます。以下について伺います。</p> <p>(1) 市民参加のまちづくりのために、市として今後どのように進めようとしていますか。</p> <p>(2) 荃崎地区の拠点でもある荃崎庁舎跡地利活用について、多くの住民の意見を聴き、反映させる方法をどのように考えていますか。</p>	市長 担当部長
2. 小中学校や幼稚園・保育所の発達障害児に対する支援について	<p>今年度より教育局に特別支援教育推進室が設置され、特別支援教育の指導の推進に期待が高まっています。</p> <p>全国的にも発達障害児が増えているというデータが出ており、現場の先生は対応に奔走されています。適切に児童にアプローチ、指導することで状況を改善することも可能ではないかと考えます。以下について伺います。</p> <p>(1) 発達障害児へのアプローチや指導の手法</p> <p>(2) 専門家を交えたケース会議の実施状況、学校や先生を支援する体制についての現状</p> <p>(3) 巡回指導の状況</p>	市長 教育長 担当部長
3. 待機児童対策	<p>県内で待機児童数が一番多く、今後も人口増加が予想されるつくば市にとって、待機児童対策は重要な課題です。</p>	市長 担当部長

<p>4. つくばの子育て環境としてプレーパーク（冒険遊び場）の導入について</p>	<p>以下について伺います。</p> <p>(1) 待機児童数の最新データ</p> <p>(2) 保育士1人あたり3万円補助の成果</p> <p>(3) 小規模保育導入の進捗状況</p> <p>(4) 保育コンシェルジュの状況、効果</p> <p>(5) 子ども子育て会議での待機児童対策についての議論</p> <p>子どもの健やかな成長にとって、自発的な遊びは必要不可欠であり、五感や体力、好奇心、自尊心を育み、集団遊びによって社会力が培われます。それらはまさに生きる力です。生きる力を養う遊び場として、プレーパーク（冒険遊び場）という取り組みがあります。</p> <p>プレーパークとは、子どもの遊びや発達について知識を持った大人が見守り、子どもが自由に遊びを作り出せる場所です。子どもは各自の責任でルールを守りながら、木登り、穴掘り、水遊び、工作、たき火、ロープなどで遊び、誰でも自由に出入り可能で、幼児から小中高生、大人まで夢中で遊び、多世代交流の場ともなります。つくば市の特長である多くの公園をもっと魅力的に、地域づくりまで発展させる可能性のあるのがプレーパークです。国内では1974年に導入されてから、現在では東京、神奈川、北海道をはじめ、全国の32の都道府県にまで取り組みが広がっています。以下について伺います。</p> <p>(1) 教育的視点からプレーパークの有用性についてどのように考えていますか。</p> <p>(2) 現状において、市内の公園でできること、できないこと（例：木登り、穴掘り、水遊び、工作、たき火、ロープ遊び等）</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
--	---	----------------------------

一般質問を行うに当たっては、明確な答弁を求めるため、会議規則第52条編注1のとおり、通告書に発言の要旨等を読んで分かる程度の具体的内容を記入されるようお願いいたします。